

## 『歴史学科 履修の手引き 2019年度版（2年生）』

\* 『2019年度 履修科目登録要項』『シラバス大学要覧（入学年度のもの）』を参照

### 1. 卒業要件と進級要件（『大学要覧』ピンク色のページ⑦、『要項』10-11頁。自分の入学年度に注意）

（1）卒業要件：124単位以上修得（丸数字は最低習得単位数）

●要件の構成：教養教育科目⑳＋地域教育科目②＋外国語科目⑥＋専門教育科目④⑥

\*残り32単位は所定の対象科目から自由に履修

\*教養教育科目および専門教育科目は余裕をもって履修

●教養教育科目の構成⑳：第1類⑳（人間的基礎⑩、知的基礎⑩） 第2類⑱

●外国語科目の構成⑥：第1類④ 第2類②

●専門教育科目の構成④⑥：第1類④ 第2類⑫ 第3類⑩

・第1類④：「概説」（1年次配置）では、5分野10単位から4分野8単位以上が選択必修（各分野の概説Ⅰ・Ⅱはセット）

・第2類（テーマ史）⑫

・第3類⑩

（2）進級要件：52単位以上

・教養教育科目と地域教育科目：合計30単位以上

・外国語科目：4単位以上

・専門教育科目：第1類12単位以上 第2類&第3類 6単位以上

（3）年間履修登録制限（通称キャップ）（『履修科目登録要項』4頁）

●キャップ制：この上限の単位数の枠内でしか一年間に履修登録できない

平成27年度～30年度入学生：44単位

平成23年度～26年度入学生：48単位

●資格科目はキャップ制限の対象外

（4）科目の種類の確認

◇必修科目：必ず修得しなければならない科目

◇選択必修科目：指定された科目群の中から選択し、必ず修得しなければならない科目

◇選択科目：指定された類内で適宜選択し、修得しなければならない科目

◇自由科目：卒業要件単位に含まれない選択科目

### 2. 2年生の修得科目と時間割（『大学要覧2018』のピンク色のページ等）

（1）卒業要件を満たすために泉キャンパスで修得すべき単位数＝“泉返し”回避のため  
必修および選択必修科目の単位を修得する

①教養教育科目：第1類⑳（人間的基礎⑩・知的基礎⑩） 第2類⑱

②地域教育科目：②

③外国語科目：第1類④ 第2類②

④専門教育科目：第1類（概説4分野Ⅰ・Ⅱ）⑩ 第2類⑩ 第3類⑥

**\*以上を目安にキヤップの制限内で履修登録を増やし時間割を組む**

## （2）注意点

- 1年次に単位修得ないし履修できなかったが2年次に単位修得すべき科目を点検
- 教養教育科目
  - ・第1類：「キャリア形成と大学生活」、「市民社会を生きる」、「情報化社会の基礎」  
「読解・作文の技法」と「研究・発表の技法」は必修（予備登録の結果を要確認）
  - ・第2類：「歴史学」、「基礎社会学」、「基礎経済学」、「日本国憲法」、「現代の政治」「哲学」、  
「基礎地理学」（2年次開講）、「情報リテラシー」（2年次開講）  
これらは「歴史学」を除き教職科目でもある。
- 地域教育科目：「地域の課題Ⅰ」（2年次開講、2単位、必修）を履修
- 外国語科目：「英語ⅡA」「英語ⅡB」は必修  
（文献読解）（日常英語）（英会話）に分かれる（予備登録の結果を要確認）  
教員免許状取得を目指すには、ⅠかⅡで（英会話）の単位修得が必須
- 専門教育科目第1類：16単位以上選択必修  
「日本史概説Ⅰ・Ⅱ」、「アジア史概説Ⅰ・Ⅱ」、「ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ」、「考古学概説Ⅰ・Ⅱ」、「民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」から4分野以上（単位はⅠ・Ⅱセットで修得）

## （3）資格科目について（以下の頁数は『大学要覧2018』による）

『大学要覧』ピンク色のページ⑤⑥、「各種資格取得の履修」（447頁～）等を熟読し、**資格取得の条件を理解すること**

<2年次資格科目>

- ・教職（449頁～）：「教職に関する科目」「教科に関する科目」の両方の開講科目に注意。  
「履修カルテ」については**教職課程ガイダンス**に出席し、指示に従う。
- ・学芸員（476頁～）：2年次科目は「生涯学習概論」「博物館経営論」「博物館資料論」
- ・社会教育主事（481頁～）：2年次科目は「生涯学習概論」「図書館概論」「教育工学実習」「ボランティア活動」「社会福祉論」「地域構想論」ほか
- ・司書（486頁～）：2年次科目は「生涯学習概論」「図書館概論」

\*以上の資格科目の履修登録の注意点については、『履修科目登録要項』12～14頁も参照

## 3. 科目登録の概要（『履修科目登録要項』1-4頁）

### （1）科目登録の方法

- パソコンから「東北学院ポータル My TG」にログインして行う。必ずメール通知設定を行う。  
詳細は『Web履修操作マニュアル』を参照。
- 科目登録は学則、履修細則および入学年度の学科課程表に従い登録する。（『大学要覧』参照）

- 登録していない科目は、受講することも定期試験を受けることもできない。
- 科目登録は期間内（4月9日～14日）に完了しなければならない。期間外の取消や変更、追加は認められない。
- ただし、登録確認・修正期間（4月18日～21日）のみ、My TGで科目登録を修正できる。
- 科目登録についての質問は、指導期間内（3月28日～4月19日）に学務係へ。

(2) 後期修正登録（『履修科目登録要項』4頁）

後期開講科目に限り、削除または追加ができる。ただし、キャップの単位数を超えることはできない。抽選科目は削除できるが、追加できない。

対象者：平成27年度以降入学生（学生番号が15、16、17、18、19で始まる学生。編入学生除く）

期間：9月26日（木）0：00～9月29日（日）23：00

(3) 履修辞退（『履修科目登録要項』4頁）

履修放棄はGPAで0点となるが、辞退申請しておけば、それを避けることができる。ただし、キャップの単位数としてはカウントされたままである。

対象者：平成28年度以降入学生（学生番号が16、17、18、19で始まる学生。編入学生除く）

期間：前期は、5月21日（火）8：30～5月24日（金）17：00

後期は、10月23日（水）8：30～10月25日（金）17：00

(4) 集中講義期間：前期は9月4日～6日、9日～13日、後期は1月6日～9日

詳細な日程は、集中講義期間の約一カ月前に掲示板等で通知

**\*そのほか、履修登録に関する手続きは『履修科目登録要項』を参照すること**

4. 予備登録科目について（履修科目登録要項』5頁）

「読解・作文の技法」「研究・発表の技法」「英語ⅡA・ⅡB」

それぞれについて、昨年の予備登録の結果が正しく反映されているかを確認

※予備登録をしていない学生…大至急、学務係に申し出る。

※「読解・作文の技法」「研究・発表の技法」の再履修者…履修申請画面に科目名が表示されているか確認。前年度と同じ教員の授業に登録されるが、教員の変更希望があれば学務係に申し出る。

5. 抽選科目について（履修科目登録要項』2～3、6頁）

後期授業についても4月の抽選期間に申請。抽選科目の一覧は『要項』6頁参照

・泉キャンパスの教養教育科目：4月2日（火）13：00～4月5日（金）13：00に抽選申請

・古文書学Ⅰ・同Ⅱ：それぞれ4月2日（火）13：00～4月5日（金）13：00に抽選申請

「古文書学Ⅰ」は火曜2校時と5校時から、「古文書学Ⅱ」は火曜4校時と5校時から、第1希望と第2希望を選択。

## 6. その他

### (1) キャンパス間移動の制限

他キャンパス開講科目を履修する場合は、移動時間として前後 1 コマずつ空ける。礼拝時間  
ならびに昼休み時間は移動時間として認められない。

### (2) 3 年次開講「総合演習 I・II」について

- ・ 4 年次の「論文演習」へ続く 2 年間のゼミ（3、4 年次は同一教員のゼミ。変更不可）
- ・ 定員 15 名。定員オーバーの場合は成績順（2 年前期までの概説科目の上位 6 科目の合計点）
- ・ 2 年次後期に説明会を開催。必ず出席する

### (3) GPA について

平成 28 年度入学生から適用。配点は右表参照。

GPA1.0 以下の場合、退学勧告の可能性。

履修放棄は GP=0 としてカウントされるので、特に気を付ける。それを避けるため、履修辞退の期間が設けられているので、よく確認すること。ただし、履修辞退してもキャップにはカウントされたままなので、代わりに別の科目を追加登録できるわけではない。

なお、就活で GPA を求められることもあるので注意。

⇒ 詳しくは、『大学要覧』（2018 年度版は 35 頁）を参照

		GP
S	90~100 点	4
A	80~89 点	3
B	70~79 点	2
C	60~69 点	1
D	0~59 点	0
H	履修放棄	0